~~(案)~~

資料No. 5
平26.1.27
研究科教育会議

# 平成~~26（2014）~~27（2015）年度

# 東京大学大学院理学系研究科修士課程学生募集要項

**教育研究上の目的**

理学教育研究の目的は、自然界の真理の根本的理解に向けて、知を創造し、発展させ、それを継承することである。

本研究科は、次代を担う学究の徒に理学の理念と方法論を教授し、未知の問題に対する解決の知恵と手段を備えた独創性豊かな国際的人材を養成する。

※詳細は下記を参照

http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/kyo-graduate.html

**求める学生像**

- 対象を普遍的にとらえる理学的な思考法、未知の現象に迫る方法論、論理的で明晰な分析力などを身につけることができる人。
- 新しい課題にチャレンジし、既成の概念にとらわれない新鮮な着想力で未踏の道を切り拓いていける人。
- 大学院で獲得した高度な知識と研究能力を礎として、将来的に諸分野の第一線で国際的な活躍を目指す人。

## 1．出　願　資　格

（1）　大学を卒業した者及び平成~~26（2014）~~27（2015）年３月３１日までに卒業見込みの者

（2）　外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者及び平成~~26（2014）~~27（2015）年３月３１日までに修了見込みの者

（3）　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者及び平成~~26（2014）~~27（2015）年３月３１日までに修了見込みの者

（4）　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成~~26（2014）~~27（2015）年３月３１日までに修了見込みの者

（5）　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

（6）　昭和２８年文部省告示第５号をもって文部科学大臣の指定した者（注１）

（7）　学校教育法第１０４条第４項の規定により学士の学位を授与された者及び平成~~26（2014）~~27（2015）年３月３１日までに授与される見込みの者（注２）

（8）　外国において学校教育における１５年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１５年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者（注３）

（9）　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１５年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者（注３）

（10）　個別の入学資格審査をもって大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、平成~~２６（２０１４）~~２７（２０１５）年３月３１日において２２歳に達したもの（注４）

（注１）上記（６）に該当する者とは、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者を示す。

（注２）上記（７）に該当する者とは、学位授与機構又は大学評価・学位授与機構から学位を授与された者及び授与される見込みの者を示す。

（注３）上記（８）及び（９）により出願しようとする者は、出願前のできるだけ早い時期に、本研究科事務部大学院担当（６．の（１）のエ）に問い合わせること。

（注４）①　上記（10）に該当する者とは、上記（１）から（９）に該当しない者のうち、４年制の大学に相当する教育施設の卒業者（修了者）等で、個別の入学資格審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者である。

②　上記（10）で出願しようとする者については、出願前に個別の入学資格審査を行うので、平成~~２５（２０１３）~~２６（２０１４）年５月~~２７~~２６日（月）から５月~~３１~~３０日（金）に本研究科事務部大学院担当（６．の（１）のエ）に申し出て、その指示に従うこと。

③　入学資格審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可する。

## ２．選　抜　方　法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、出身学校の学業成績により行う。
出願者は志望する専攻が指示する全ての試験科目を受けなければならない。

## ３．専攻別募集人員

| 専攻 | 募集人員 | 専攻 | 募集人員 |
|---|---|---|---|
| 物理学 | ~~150~~ 名 | 化学 | ５２ 名 |
| 天文学 | ２３ 名 | ~~生物化学~~ | ~~27 名~~ |
| 地球惑星科学 | １０９ 名 | 生物科学 | ~~55~~ 名 |

（１）試験の成績によっては、合格者数が募集人員を上回る場合または下回る場合がある。

（２）化学専攻においては、平成~~26（2014）~~年４月入学のほかに、平成~~25（2013）~~年１０月入学を認める。募集人員は若干名である。なお、平成~~25（2013）~~年１０月入学を希望する者は、出願資格に関して第１項の第１号から第１０号までの「平成~~26（2014）~~年３月３１日」を「平成~~25（2013）~~年９月３０日」と読み替えること。

~~（注）平成２６（２０１４）年４月から生物系の２専攻（生物化学専攻及び生物科学専攻）は統合して新しい生物科学専攻（仮称）となる予定である。~~

## 4．専攻別試験科目及び試験期日

試験は、以下の日程により行われる。試験の場所、その他詳細については、平成~~25（2013）~~年7月~~29~~日（月）に受験票とともに郵送する受験者心得で通知する。

なお、出願希望者は、各専攻の内容を詳述した「説明資料」を参照すること。

| 専攻名 | 試験期日 | 試験科目・内容 |
|---|---|---|
| 物理学 | 8月~~26~~日（月） | ○専門科目<br>数学<br>物理学研究に必要となる基礎的な数学の問題2問を出題する。<br><br>物理学<br>基本的な物理の問題6問を出題する。<br>第1問～第3問はいずれも必修問題で、量子力学（第1問）、統計力学（第2問）、古典力学および電磁気学（第3問）、を主な範囲とする。<br>第4問～第6問は実験に関連した選択問題で、その中から1問を選んで解答させる。<br><br>※過去の問題は下記を参照<br>http://www.phys.s.u-tokyo.ac.jp/stud/nyushi/kakomon.html |
| | 8月~~27~~日（火） | ○外国語 英語<br>TOEFL-ITP®テストを行う。<br>TOEFL-ITP®テストは、受験生が同一時間に同一の方法で受験する団体用の試験である。その試験結果は本専攻の今回の入試にのみ有効であり、公式のスコアとはならない。 |
| | 9月 ~~5~~日（~~木~~）<br>～~~6~~日（~~金~~） | ○口述試験<br>あらかじめ提出した第一志望および第二志望にしたがって、サブコースごとに分かれた口述試験を行う。 |
| | | 筆記試験の結果により、口述試験対象者を決定し、9月~~2~~日（月）に発表する。（発表場所は受験票送付時に通知する。） |

| | | |
|---|---|---|
| 天　文　学 | 8月~~2~~ 6 ~~7~~日（火） | ○外 国 語　英語<br>○専 門 科 目<br>天文学を研究するために必要な天文学・物理学・数学の基礎的事項について６題を出題し、数学と物理学をそれぞれ少なくとも１題を含む４題を選択解答させる。<br><br>※過去の問題は下記を参照<br>http://www.astron.s.u-tokyo.ac.jp/graduate/exam/ |
| | 9月　~~5~~ 4 日（木） | ○口 述 試 験<br>天文学研究に必要な思考能力をみるための口述試験を行う。 |
| | | 外国語・専門科目の試験成績により、口述試験対象者を決定し、９月~~2~~ 1 日(月)に発表する。(発表場所は受験票送付時に通知する。) |
| 地球惑星科学 | 8月~~2~~ 6 ~~7~~日（火） | ○外 国 語　英語<br>TOEFL-ITP®テストを行う。<br>TOEFL-ITP®テストは、受験生が同一時間に同一の方法で受験する団体用の試験である。その試験結果は本専攻の今回の入試にのみ有効であり、公式のスコアとはならない。<br><br>○専 門 科 目<br>数学２題、物理学３題、化学２題、生物学２題、地球科学（鉱物・岩石・構造地質、表層環境・テクトニクス）２題の計１１題から計４題を選択。<br><br>※過去の問題は下記を参照<br>http://www.eps.s.u-tokyo.ac.jp/admission/exam.html<br><br>○小　論　文<br>大学院入学後どのような分野に進みどのような研究を行いたいと希望しているか、に関する小論文（８００字程度）を課す。 |
| | 9月　~~5~~ 4 日（木）<br>～~~6~~ 5 日（金） | ○口 述 試 験<br>上記小論文の内容に関連した口述試験を行う。 |
| | | 専門科目と外国語の試験成績により、口述試験対象者を決定し、９月~~3~~ 2 日(火)に発表する。(発表場所は受験票送付時に通知する。) |

| | | |
|---|---|---|
| 化　　学 | 8月~~27~~26日（火） | ○外 国 語 英語<br>TOEFL-ITP®テストを行う。<br>ただし、TOEFL-iBT または TOEFL-PBT のスコア提出で代替可（以下の TOEFL スコア代替に関する注意事項を参照のこと）<br>○専 門 科 目<br>専門的研究を行うにあたり、必要な科学全般の基礎知識ならびに思考能力について筆記試験を行う。化学６題、数学２題、物理学２題、地球科学２題、生物学２題の１４題のうち５題を選択。<br>また、大学院入学後どのような分野に進みどのような研究を行いたいと希望しているかについて４００字程度の作文を課す。<br><br>※過去の問題は下記を参照<br>http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/graduate/kakomon.html |
| | 9月　~~4~~3日（水） | ○口 述 試 験<br>専門的研究を始めるにあたり、志望の妥当性、適性などを口述によって試問する。 |
| | | （TOEFL スコア代替に関する注意事項）<br>TOEFL-ITP®テストの代替を希望する者は、出願時に TOEFL-iBT または TOEFL-PBT（~~2011~~2012年９月１日以降に受験したもの）のスコア(1)及び(2)を提出すること。<br>(1) Examinee's Score Record のコピー<br>(2) Official Score Report（TOEFL 受験の際、TOEFL コード番号（8960）を記入すると、ETS から東京大学大学院理学系研究科化学専攻に直接郵送される。）<br><br>TOEFL-ITP®テストは、受験生が同一時間に同一の方法で受験する団体用の試験である。その試験結果は本専攻の今回の入試にのみ有効であり、公式のスコアとはならない。 |

| | | |
|---|---|---|
| 生物化学<br>および<br>生物科学 | 8月27日（火） | ㋑外国語 英語<br>TOEFL-ITP®テストを行う。<br>TOEFL-ITP®テストは、受験生が同一時間に同一の方法で受験する団体用の試験である。その試験結果は本専攻の今回の入試にのみ有効であり、公式のスコアとはならない。<br><br>㋺専門科目<br>（生物化学専攻）<br>・生物化学専攻と生物科学専攻の共通問題－4題<br>・生物化学分野の問題－4題<br>・生物情報科学分野の問題－4題<br>以上の12題から任意の4題を選択。<br><br>（生物科学専攻）<br>・生物化学専攻と生物科学専攻の共通問題－4題<br>・生物科学及び関連する分野の問題－8題<br>以上の12題から任意の4題を選択。 |
| | 9月 3日（火） | ㋩口述試験<br>専門的研究を始めるにあたり、志望の妥当性や適性などを口述によって試問する。 |
| | | 筆記試験の結果により口述試験対象者を決定し、8月30日（金）に発表する。（発表場所は受験票送付時に通知する。）<br>筆記試験と口述試験の結果を総合して最終合格者を決定する。 |
| | | 生物化学専攻に出願する場合、生物科学専攻の教員を第2希望あるいは第3希望（または第2希望と第3希望）の指導教員とすることができる。<br>生物科学専攻に出願する場合、生物化学専攻の教員を第2希望あるいは第3希望（または第2希望と第3希望）の指導教員とすることができる。 |
| | | ※出願方法や試験の詳細、過去の問題は下記を参照すること。<br>（生物化学専攻）<br>http://www.biochem.s.u-tokyo.ac.jp/school/school_3<br>（生物科学専攻）<br>http://www.biol.s.u-tokyo.ac.jp/examination/past_adm.shtml |

| | | |
|---|---|---|
| 生　物　科　学 | 8月26日（火） | ○外　国　語　英語<br>TOEFL-ITP®テストを行う。<br>TOEFL-ITP®テストは、受験生が同一時間に同一の方法で受験する団体用の試験である。その試験結果は本専攻の今回の入試にのみ有効であり、公式のスコアとはならない。<br><br>○専 門 科 目<br>・分子生物学・細胞学・生化学・遺伝学の問題－計４題<br>・生化学・生物情報科学の問題－４題<br>・生物科学分野の問題－４題<br>以上の１２題から任意の４題を選択。 |
| | 9月　2日（火） | ○口 述 試 験<br>専門的研究を始めるにあたり、志望の妥当性や適性などを口述によって試問する。 |
| | | 筆記試験の結果により口述試験対象者を決定し、８月２９日（金）に発表する。（発表場所は受験票送付時に通知する。）<br>筆記試験と口述試験の結果を総合して最終合格者を決定する。 |

## ５．合格者の発表及び入学手続

（１）　合格者の発表は、平成~~２５（２０１３）~~年９月~~１８~~日（水）午後１時頃に理学部１号館西棟正面玄関に掲示するとともに、受験者全員に対し試験の結果を本人あてに郵送する。９月２４日（~~火~~）までに試験結果通知が到着しない場合は、必ず本研究科事務部大学院担当（６．の（１）のエ）に連絡し、指示を受けること。

（２）　入学手続書類は、平成~~２６（２０１４）~~年３月初めに本人あてに郵送するので、３月５日（~~水~~）までに入学手続書類が到着しない場合は、直ちに本研究科事務部大学院担当（６．の（１）のエ）に連絡し、指示を受けること。合格者は、入学手続要領により、３月中の所定の期間内に必要な入学手続（入学料の納付及び入学手続書類の提出）を行うこと。所定の期間内に入学手続を行わない場合は、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

なお、平成~~２５（２０１３）~~年１０月入学者については、入学手続書類を試験結果通知とともに郵送するので、所定の期間内に入学手続を行うこと。

（３）　入学時に必要な経費（平成~~２６（２０１４）~~年度予定額）

（日本政府（文部科学省）奨学金留学生に対しては徴収しない。）

①　入　　学　　料　　２８２，０００円（予定額）

②　授業料　前期分　　２６７，９００円（年額５３５，８００円）（予定額）

（注）　上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

## ６．出　願　手　続

（１）出　願　方　法

ア．出願は郵送に限る。

イ．郵送にあたっては、（２）の「出願書類等」を一括して所定の封筒に入れ、郵便局窓口において「書留郵便」の手続きをすること。

ウ．受付期間　平成~~２５（２０１３）~~年７月~~４~~日（木）から７月~~１０~~日（水）まで。

ただし、７月~~１０~~日（水）までの消印があるものは受け付ける。

エ．あ て 先　〒１１３－００３３　東京都文京区本郷７丁目３番１号

東京大学大学院理学系研究科事務部大学院担当

電話　０３－５８４１－４０２３

（２）出　願　書　類　等

ア．入　学　願　書　本研究科所定の用紙に所要事項を記入したもの。

イ．成 績 証 明 書　学部（教養課程を含む）の成績を証明するもので原本を提出すること。

ただし、本学理学部を平成~~２６（２０１４）~~年３月卒業見込みの者は、不要。

ウ．写真票・受験票　３か月以内撮影の写真（正面上半身脱帽のもの）を、所定欄に貼ること。

エ．封　　筒　出願者本人のあて名を記入し、３５０円分の切手を貼ること。
（受験票送付用）

オ．封　　筒　出願者本人のあて名を記入すること。
（試験結果通知用）

カ．あて名シール　出願者本人のあて名を記入すること。
（入学手続書類送付用）

キ．検　定　料　３０，０００円

銀行振込もしくはコンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込に限る。
いずれの場合においても振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となる。
（平成~~２５（２０１３）~~２６年６月~~１３~~１２日（木）から７月~~１０~~９日（水）の間に払い込むこと。
ただし、外国人出願者のうち出願時において日本政府（文部科学省）奨学金留学生である者は、検定料は不要。なお、本学に在学中（研究生を含む）の者以外は、日本政府（文部科学省）奨学金留学生である証明書を提出すること。）

【銀行振込の場合】

所定の振込依頼書に必要事項を記入し、「出願者へのお願い」を参照の上、最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局不可）の窓口から、振り込むこと（ATM、インターネット等は利用しないこと）。振り込みの際、振込金受取書（Ｂ票）及び払込金受付証明書（Ｃ票）を受け取り、払込金受付証明書（Ｃ票）を検定料払込金受付証明書の所定欄に貼り付けること。
振込金受取書（Ｂ票）は領収書なので、大切に保管すること。
※ゆうちょ銀行・郵便局、ATM、インターネット等での振り込みでは、「払込金受付証明書（Ｃ票）」が発行されないので利用しないこと。

【コンビニエンスストアでの払込の場合】

コンビニエンスストアは、「セブン-イレブン」、「サークルK」、「サンクス」、「ローソン」、「ファミリーマート」、「ミニストップ」に限る。
実際の払込に関する操作手順や注意事項については、巻末の「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、検定料払込金受付証明書の所定欄に貼り付けること。

【クレジットカードでの払込の場合】

クレジットカードは、「ビザカード（VISA）」、「マスターカード（Master）」、「ＪＣＢカード」、「アメリカン・エキスプレスカード（American Express）」が利用可能。
実際の払込に関する操作手順や注意事項については、巻末の「コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料払込方法」を参照の上、払い込むこと。払い込み後、印刷した「受付完了画面」を出願書類に同封すること。

## 7．注　意　事　項

（1）　同一年度に本研究科内の２つ以上の専攻に出願することはできない※。

※化学専攻に出願する者は、平成~~25（2013）~~年１０月入学と平成~~26（2014）~~年４月入学のうち、いずれか一つを選ばなければならない。さらに、平成~~25（2013）~~年１０月入学を希望する場合には、本研究科のどの専攻にも平成~~26（2014）~~年４月入学を目的として出願することができないので注意すること。

（2）　提出期日までに必要書類が完備しない願書は受理しない。

（3）　出願手続完了後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、また、検定料の払い戻しもできない。

（4）　受験票及び受験者心得は、平成~~25（2013）~~年７月~~29~~日（月）に郵送する。８月~~2~~日（金）までに到着しない場合は、必ず本研究科事務部大学院担当（６．の（１）のエ）に連絡し、受験に必要な指示を受けること。

（5）　官公庁・企業・団体等に在職のまま大学院に入学を希望する者は、入学手続きの際に、在学期間中学業に専念させる旨の「所属長の承諾書（様式任意）」を提出すること。

（6）　身体に障害のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は、出願時に本研究科事務部大学院担当（６．の（１）のエ）に申し出ること。

（7）　外国人は、入学手続き時までに、「出入国管理及び難民認定法（昭和２６年政令第３１９号）」の規定により、大学入学に支障のない在留資格を有することを要する。

（8）　事情により、出願手続、試験期日等について、変更することがある。変更があった場合は、あらためて通知する。

（9）　入学手続後は、どのような事情があっても入学料の払い戻しはできない。

(10)　出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。

(11)　入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。

(12)　入学願書における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。

平成~~25（2013）~~年５月